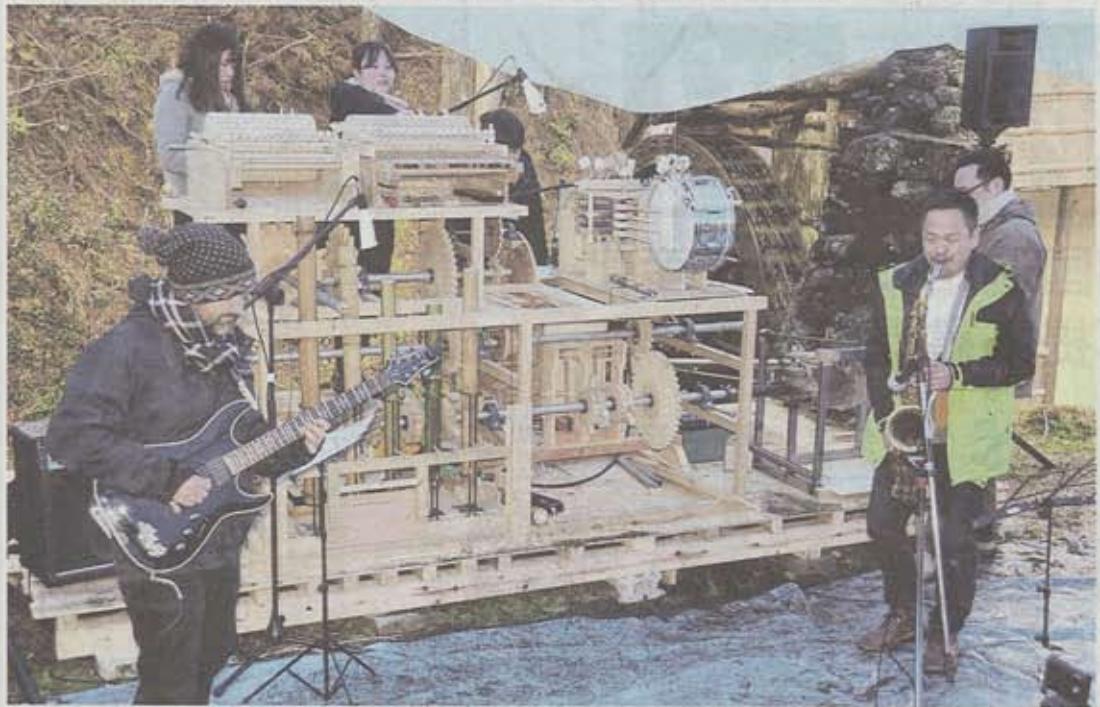


(第3種郵便物認可)

右奥で回る水車の力で演奏する楽器の音色などが披露された音楽会



石畠清流園 大学生音楽会企画

まるごとトピック
内子

内子町石畠の石畠清流園で20日、水車の力で鉄琴や太鼓などを鳴らす「童謡水車」のコンサートがあり、川のせせらぎや鳥のさえずりとともに自然豊かな音色を観客が楽しんだ。

奏者は水車 自然の音色

歌謡曲やジャズ披露

コンサートは愛媛、松山両大学の学生有志グループ「SENSE (センス)」が企画した。メンバーで内子町出身の松山大2年山本菜摘さん(20)がインターネットで音楽水車の映像を見て、祖母が暮らす石畠地区でやれば面白い」と発案。関東地方や岩手県で演奏活動をしている「音楽水車プロジェクト」(岡淳代表)に依頼して実現した。

音楽水車は水車の回る力をゴムベルトで伝える複雑に組み合わせ

たギアなどを動かすオルゴールに似た仕組みで、さまざまな曲を奏でることができ。20日はジャズミュージシャンでもある岡さんのサックス演奏やジャズの名曲を披露。あいにくの悪天候だったが、雨音さえもメロディーに溶け込んでいた。

石畠清流園の水車は地元の有志でつくる「石畠を思う会」が集落のシンボルとして、昔ながらの姿を復元。

同会の西本和明会長(62)は「私たちでは考えつかないイベント。みんなの力で自然豊かな状態を残していくさとい」と学生の企画を喜んでいた。

(加藤太啓)